

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-314378

(43)Date of publication of application : 29.11.1996

(51)Int.Cl.

G09F 1/02  
B42D 15/10  
G06F 19/00  
G07B 1/00  
G07B 5/00

(21)Application number : 07-142685

(71)Applicant : DAINIPPON PRINTING CO LTD

(22)Date of filing : 16.05.1995

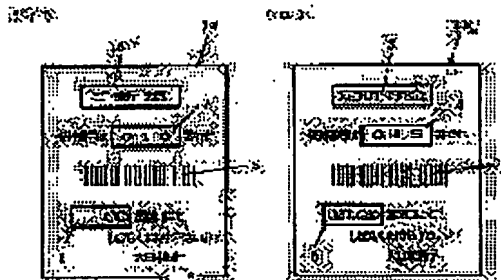
(72)Inventor : SAITO YOSHINORI  
TSUKADA AKISUKE

## (54) WAITING ORDER NUMBER TAG AND ITS ISSUING METHOD

## (57)Abstract

**PURPOSE:** To provide waiting order number tags which enable customers to know window numbers, approximate waiting time, etc., simply by instructing the business names that the customers are going to carry out with ticket machines installed in an entrance and outlet even when the customers visit a store for the first time and a method for issuing these tags.

**CONSTITUTION:** This device for issuing the waiting number tag consists of the plural windows and the ticket machines which have the touch screens installed in the entrance and outlet to and from the store, have a CPU and are mounted with MS-DOS. The waiting order number tags 1a, 1b printed with the business names 3, the waiting order numbers 4, the bar codes 5 corresponding to the waiting order numbers, window numbers 6, waiting time, etc., are issued simply when the customers touch the business names that the customers are going to carry out with the touch screens of the ticket machines.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 11.04.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 24.12.2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-314378

(43) 公開日 平成8年(1996)11月29日

| (51) Int.Cl. <sup>8</sup>   | 識別記号  | 庁内整理番号 | F I           | 技術表示箇所  |
|-----------------------------|-------|--------|---------------|---------|
| G 0 9 F 1/02                |       |        | G 0 9 F 1/02  | D       |
| B 4 2 D 15/10               | 5 0 1 |        | B 4 2 D 15/10 | 5 0 1 K |
| G 0 6 F 19/00               |       |        | G 0 7 B 1/00  | B C3,4  |
| G 0 7 B 1/00                |       |        | 5/00          | D C3,4  |
| 5/00                        |       |        | G 0 6 F 15/30 | Z       |
| 審査請求 未請求 請求項の数4 F D (全 5 頁) |       |        |               |         |

(21) 出願番号 特願平7-142685

(22) 出願日 平成7年(1995)5月18日

(71) 出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72) 発明者 斉藤 義彦

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(72) 発明者 塚田 哲寛

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

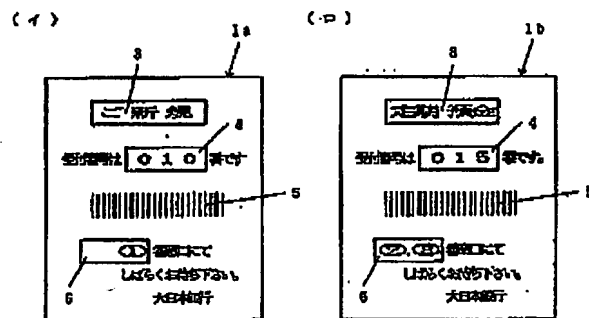
(74) 代理人 弁理士 小西 淳美

(54) 【発明の名称】 待ち順番号札及びその発行方法

(57) 【要約】

【目的】 初めての来店の場合でも、出入口に設置された発券装置にて、自分の行おうとする業務名を指示するだけで、窓口番号、概略の待ち時間等を知ることができる待ち順番号札およびその発行方法を提供することである。

【構成】 複数の窓口と、店内への出入口に設置されたタッチスクリーンを備えと共にCPUを備えMS-DOSを搭載した発券装置とからなり、顧客が発券装置のタッチスクリーンにて自分の行う業務名をタッチするだけで、業務名、待ち順番号、待ち順番号に対応したバーコード、窓口番号、待ち時間等がプリントされた待ち順番号札が発行される待ち順番号札の発行方法である。



(2)

特開平8-314378

1

2

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 業務名と、待ち順番号と、窓口番号とがプリントされていることを特徴とする待ち順番号札。

【請求項2】 前記待ち順番号に対応したバーコードと、受付中番号および／または待ち時間とがプリントされていることを特徴とする請求項1記載の待ち順番号札。

【請求項3】 複数の窓口と、店内への出入口に設置されたタッチスクリーンを備えたと共にCPUを備えた発券装置とからなり、顧客が発券装置のタッチスクリーンを使用して自分の希望する業務名をタッチすることにより、業務名と、待ち順番号と、窓口番号とがプリントされた待ち順番号札が発行されることを特徴とする待ち順番号札の発行方法。

【請求項4】 複数の窓口と、前記窓口それぞれに設置されたバーコードリーダと、店内への出入口に設置されたタッチスクリーンを備えたと共にCPUを備えた発券装置とからなり、顧客が発券装置のタッチスクリーンを使用して自分の希望する業務名をタッチすることにより、業務名と、待ち順番号と、前記待ち順番号に対応したバーコードと、窓口番号と、受付中番号および／または待ち時間とがプリントされた待ち順番号札が発行されることを特徴とする待ち順番号札の発行方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 銀行、郵便局、病院、役所等の複数種類の業務窓口を備えた機関において使用する待ち順番号札およびその発行方法に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来、銀行、郵便局、病院、役所等の複数種類の業務窓口を備え、窓口毎にそれぞれの業務を実施する機関においては、受付をスムーズに行うために、窓口毎に発券装置を設置することで、待ち順番号をプリントした待ち順番号札を発行して、待ち順番号札の番号順に業務を受付けて処理してゆく方法が一般的に行われている。しかしながら、上記のような方法では、各窓口毎に発券装置を設置することが必要であるために発券装置を多回数用意する必要がある上に、初めて来店した顧客にあつては、自分はどの窓口に行けばよいのかわからないという不便さがあると共に、待ち時間がどれくらいかわからないという不便さがあつた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、業務名、待ち順番号、待ち順番号に対応したバーコード、窓口番号、受付中番号および／または待ち時間等がプリントされた、使用に便利な待ち順番号札及びその発券方法を提供することである。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】 業務名と、待ち順番号と、窓口番号とがプリントされていることを特徴とする

待ち順番号札である。

【0005】 前記待ち順番号に対応したバーコードと、受付中番号および／または待ち時間とがプリントされていることを特徴とする上記の待ち順番号札である。

【0006】 複数の窓口と、店内への出入口に設置されたタッチスクリーンを備えたと共にCPUを備えた発券装置とからなり、顧客が発券装置のタッチスクリーンを使用して自分の希望する業務名をタッチすることにより、業務名と、待ち順番号と、窓口番号とがプリントされた待ち順番号札が発行されることを特徴とする待ち順番号札の発行方法である。

【0007】 複数の窓口と、前記窓口それぞれに設置されたバーコードリーダと、店内への出入口に設置されたタッチスクリーンを備えたと共にCPUを備えた発券装置とからなり、顧客が発券装置のタッチスクリーンを使用して自分の希望する業務名をタッチすることにより、業務名と、待ち順番号と、前記待ち順番号に対応したバーコードと、窓口番号と、受付中番号および／または待ち時間とがプリントされた待ち順番号札が発行されることを特徴とする待ち順番号札の発行方法である。

## 【0008】

【作用】 複数の窓口と、出入口に設置されたタッチスクリーンを有すると共にCPUを備えた発券装置とからなるシステム、ないしは複数の窓口と、各窓口に備えられたバーコードリーダと、出入口に設置されたタッチスクリーンを有すると共にCPUを備えた発券装置とからなるシステムを使用して、顧客がタッチスクリーンに表示された自分の実施しようとする業務名をタッチするだけで、業務名と、待ち順番号と、窓口番号とがプリントされた待ち順番号札ないしは、業務名と、待ち順番号と、待ち順番号に対応したバーコードと、窓口番号と、受付中番号および／または待ち時間とがプリントされた待ち順番号札が発券されるので、初めての来店であつても自分の行く窓口番号が容易にわかる上に、待ち順番号ないしは概略の待ち時間を知ることのできるののできわめて便利である。

## 【0009】

【実施例】 以下、図面を引用して本発明を説明する。図1は本発明の待ち順番号札の第1実施例を示す図、図2は本発明の待ち順番号札の第2実施例を示す図、図3は発券装置におけるタッチスクリーンの表示の一例を示す図、図4は本発明の待ち順番号札の発行方法を説明するためのシステム図であつて、1a、1b、2a、2bは待ち順番号札、3は業務名、4は待ち順番号、5はバーコード、6は窓口番号、7は受付中番号、8は待ち時間、9は宣伝文、10は発券装置、11はタッチスクリーン、12a、12b、12c、12d、12e、12fはタッチキー、13はバーコードリーダ、①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧は窓口番号をそれぞれ表す。

【0010】 銀行の窓口業務を例にとり本発明について

50

説明する。本発明の第1実施例の待ち順番号札1a, 1bは図1(イ), (ロ)に示すように、業務名3と、待ち順番号4と、待ち順番号4に対応したバーコード5と、業務名3に対応した窓口番号6とがプリントされている。図1(イ)は新規に手続きを行いたい場合の待ち順番号札1aであり、待ち順番号は10番であり、窓口①に行けばよいことがわかり、また、図1(ロ)は定期預金の手続きを行いたい場合の待ち順番号札1bであり、待ち順番号は15番であり、窓口②ないし窓口③に行けばよいことがわかる。したがって、待ち順番号札1a, 1bを見れば、初めて来店した顧客であつても、自分の行く窓口番号6が指示されているので迷うことなくきわめて便利である。

【0011】本発明の第2実施例の待ち順番号札2a, 2bは図2に示すように、業務名3と、待ち順番号4と、待ち順番号4に対応したバーコード5と、業務名3に対応した窓口番号6と、現在業務を受け付けている受付中番号7と、概略の待ち時間8がプリントされている。図2(イ)は新規に手続きを行いたい場合の待ち順番号札2aであつて、待ち順番号は10番であり、現在7番を受付中であるので、窓口①に行つて約5分間待てばよいことがわかり、また、図2(ロ)は定期預金の手続きを行いたい場合の待ち順番号札2bであつて、待ち順番号は15番であり、現在10番を受付中であるので、窓口②ないし窓口③に行つて約10分間待てばよいことがわかる。現在受付中番号7と概略の待ち時間8については、その両方をプリントせずにとちか一方のみをプリントするようにしてもよい。上記の待ち順番号札2a, 2bを見れば、初めて来店した顧客であつても、自分の行くべき窓口番号が指示されているので迷うことがない上に、現在業務を受け付けている受付中番号7、概略の待ち時間8がプリントされているので、自分の順番までにどの程度待つ必要があるのか容易にわかるので、きわめて便利である。更に、待ち順番号札2a, 2bには宣伝文9もプリントされており、その店の新規商品の内容を知ることができるので便利である。

【0012】本発明の待ち順番号札を発行するための最も簡単なシステムとしては、店内への出入口に、入力装置としてタッチスクリーン11を装備し且つCPUを備え且つMS-DOSを搭載したプリンタからなる発券装置10を設置するだけでよい。タッチスクリーン11の表示の一例としては、例えば図3に示すように、新規、定期預金、相談、振込み、ローン、税金の各業務内容に対応したタッチキー12a, 12b, 12c, 12d, 12e, 12fが表示される。上記のシステムの場合には、タッチキー12aをタッチすると、業務名3が新規とプリントされ、待ち順番号4が10番とプリントされ、窓口番号6が新規の業務窓口である1番とプリントされた、図1(イ)に示す待ち順番号札1aが発行され、タッチキー12bをタッチすると、待ち順番号4が15番とプリントされ、15番に対応し

たバーコード5がプリントされ、窓口番号6が定期預金の業務窓口を示す②番ないし③番窓口とプリントされた、図1(イ)に示す待ち順番号札1bが発行される。

【0013】本発明の待ち順番号札を発行するための他のシステムとしては、図4に示すように、店内への出入口に設置された発券装置10と、発券装置10に接続された各窓口を設置されているバーコードリーダ13とからなり、発券装置10はCPUを備え且つMS-DOSを搭載したプリンタであり、入力装置としてタッチスクリーン11を装備した構成である。上記のシステムにおいては、各窓口を設置されたバーコードリーダ13に現在受付中の待ち順番号札に表示されているバーコード5を読み取らせることで、各窓口から現在受付中の番号が発券装置10に送られてくるので、発券装置10にて各窓口毎の受付中番号7を認識できる。したがって、待ち順番号札2a, 2bのように、受付中番号7および受付中番号7から概略の待ち時間8を計算してプリントすることができる特徴がある。タッチスクリーン11には図4に示すように、業務内容に対応したタッチキー12a, 12b, 12c, 12d, 12e, 12fが表示されている。

【0014】上記のシステムの場合には、タッチキー12aをタッチすると、業務名3が新規とプリントされ、待ち順番号4が10番とプリントされ、10番に対応したバーコード5がプリントされ、窓口番号6が新規の業務窓口である①番とプリントされ、現在受付中番号7が7番とプリントされ、待ち時間8が5分とプリントされた、図2(イ)に示す待ち順番号札2aが発行される。また、タッチキー12bをタッチすると、業務名3が定期預金とプリントされ、待ち順番号4が15番とプリントされ、15番に対応したバーコード5がプリントされ、窓口番号6が定期預金の業務窓口である②番ないし③番とプリントされた、図2(ロ)に示す待ち順番号札2bが発行される。

【0015】本発明の待ち順番号札の発行方法は、顧客が来店した際に出入口に設置されている発券装置10のタッチスクリーン11に表示されている業務内容に対応したタッチキー12a, 12b, 12c, 12d, 12e, 12fにタッチして指示することにより、業務名3と、待ち順番号4と、待ち順番号4に対応したバーコード5と、窓口番号6とがプリントされた待ち順番号札1a, 1b、ないしは業務名3と、待ち順番号4と、待ち順番号4に対応したバーコード5と、窓口番号6と、受付中番号7と、待ち時間8とがプリントされた待ち順番号札2a, 2bが発行される。顧客は発行された待ち順番号札1a, 1bないし待ち順番号札2a, 2bを持ってプリントされた番号の窓口にて順番を待つ。

【0016】各窓口においては、担当者には業務を受け付けた時点で、待ち順番号札2a, 2bにプリントされている待ち順番号4に対応したバーコード5をバーコードリーダ13にて読み取らせる。読み取られたバーコード5は発券装置10に送られ、発券装置10にて現在受け付けを行つて

(4)

特開平8-314378

5

6

いる受付中番号7を各窓口毎に認識することができるようになる。受付中番号7が認識できると経験的に概略の待ち時間を計算することができる。

【0017】本発明の待ち順番号札の発行方法を使用すれば、2つの窓口を使用したい場合においても、使用したい窓口業務に対応した2枚の待ち順番号札を発行することにより、待ち時間の無駄を省くことができるので極めて合理的である。上記の実施例は銀行の窓口業務について説明したが、郵便、貯金、保険、為替等の窓口業務に分かれている郵便局、診療科目によつて窓口が分かれている総合病院、多くの業務窓口を有する役所等にて有効に利用することができる。

【0018】

【発明の効果】複数の窓口と、各窓口に備えられたバーコードリーダと、出入口に設置されたタッチスクリーンを有すると共にCPUを備えMS-DOSを搭載した発券装置とからなるシステムを使用して、顧客が発券装置のタッチスクリーンに表示された業務名をタッチするだけで、業務名、待ち順番号、前記待ち順番号に対応したバーコード、窓口番号、受付中番号および／または待ち時間等がプリントされた待ち順番号札が発行されるので、初めての来店した顧客であつても自分の行こうとする窓口番号が容易にわかる上に、概略の待ち時間を知る

ことができるのできわめて便利である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の待ち順番号札の第1実施例を示す図。

【図2】本発明の待ち順番号札の第2実施例を示す図。

【図3】発券装置におけるタッチスクリーンの表示の一例を示す図。

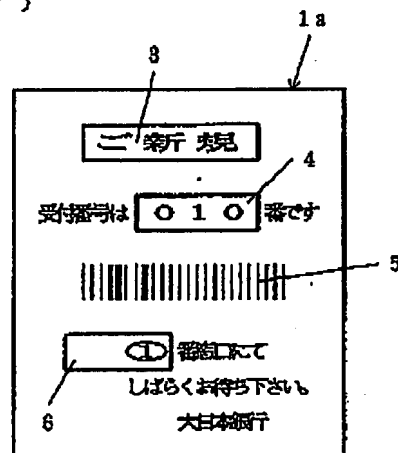
【図4】本発明の待ち順番号札の発行方法を説明するためのシステム図。

【符号の説明】

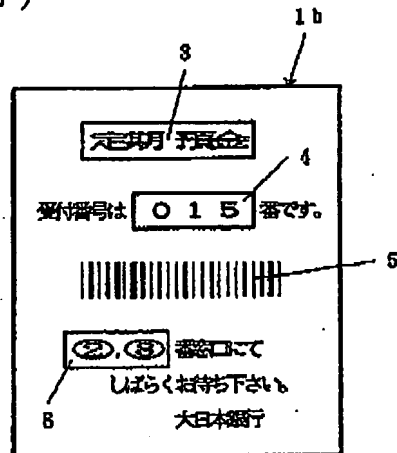
- 10 1a, 1b, 2a, 2b 待ち順番号札
- 3 業務名
- 4 待ち順番号
- 5 バーコード
- 6 窓口番号
- 7 受付中番号
- 8 待ち時間
- 9 宣伝文
- 10 発券装置
- 11 タッチスクリーン
- 20 12a, 12b, 12c, 12d, 12e, 12f タッチキー
- 13 バーコードリーダ
- ①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑦, ⑧ 窓口番号

【図1】

(イ)



(ロ)

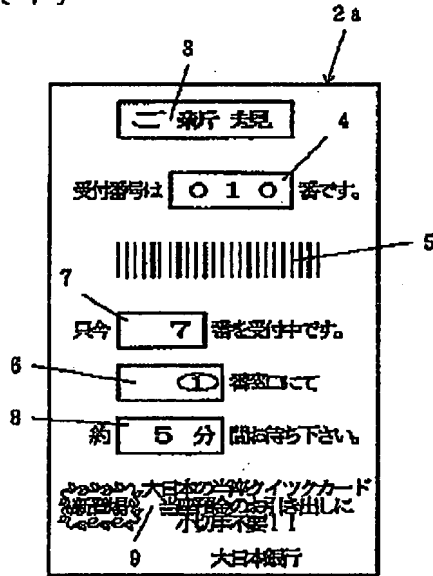


(5)

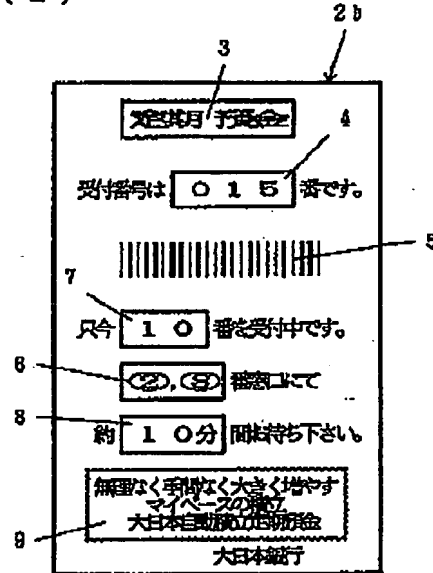
特開平8-314378

【図2】

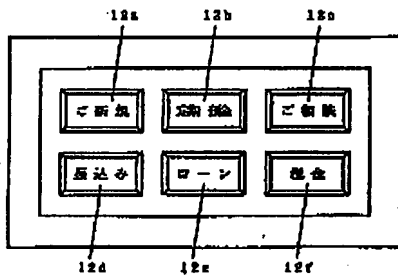
(イ)



(ロ)



【図3】



【図4】

